

出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略
令和5年度分 評価・検証資料

出雲市の人口動向

(1) 人口の推移

令和2年は国勢調査の人口、令和3～5年は、令和2年国勢調査人口をもとに、島根県が算出した推計人口です。(人)

	R2年国調 (2020)	R3年 (2021)	R4年 (2022)	R5年 (2023)	増減 R5-R2
総人口	172,775	172,871	172,428	170,927	△1,848
0～14歳	23,382	23,428	23,282	22,945	△437
15～64歳	97,197	97,109	96,740	95,676	△1,521
65歳以上	52,196	52,334	52,406	52,306	110
(75歳以上)	27,284	26,888	27,916	28,855	1,571

※国勢調査人口は年齢・国籍が不詳であった値(不詳補完値)を含めた人口です。島根県「人口移動調査」では国勢調査人口をもとに毎年10月1日時点の推計人口を算出しています。

年少人口と生産年齢人口は減少し、老年人口が増加しており、これまでと同様に、少子高齢化が進んでいます。

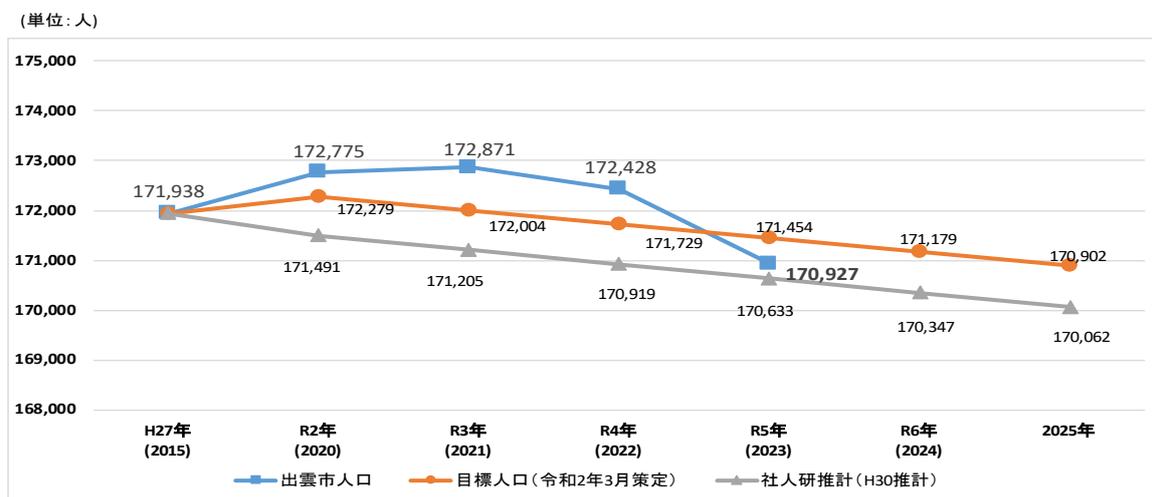
(2) 目標人口との比較

市では国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が公表した推計人口を基に、市の政策による効果(出生率の上昇、社会増)を見込んで推計した目標人口を設定しています。令和2年3月に策定した目標人口は、平成30年の社人研推計を基にして設定しました。

(単位:人)

区分	H27年 (2015)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	R4年 (2022)	R5年 (2023)	R6年 (2024)	2025年
出雲市人口	171,938	172,775	172,871	172,428	170,927		
目標人口(令和2年3月策定)	171,938	172,279	172,004	171,729	171,454	171,179	170,902
社人研推計(H30推計)	171,938	171,491	171,205	170,919	170,633	170,347	170,062

※令和3年～6年の社人研推計及び目標人口は2020年から2025年の人口の増減分を均等配分し設定した人口です。



【令和5年（2023）目標人口との比較】

	目標人口	人口(実績)	増減数
総数	171,454	170,927	▲ 527
0～14歳	23,944	22,945	▲ 999
15～64歳	95,029	95,676	▲ 647
65歳以上	52,481	52,306	▲ 175
(内訳)			
0～4歳	8,047	6,972	▲ 1075
5～9歳	7,899	7,858	▲ 41
10～14歳	7,998	8,115	117
15～19歳	7,435	7,987	552
20～24歳	7,220	6,932	▲ 288
25～29歳	7,784	7,876	92
30～34歳	8,876	8,728	▲ 148
35～39歳	9,469	9,544	75
40～44歳	10,460	10,719	259
45～49歳	11,722	12,094	372
50～54歳	11,381	11,664	283
55～59歳	10,311	9,958	▲ 353
60～64歳	10,371	10,174	▲ 197
65～69歳	11,035	10,618	▲ 417
70～74歳	12,070	12,833	763
75～79歳	10,787	10,087	▲ 700
80～84歳	7,681	7,452	▲ 229
85～89歳	6,095	6,251	156
90歳以上	4,813	5,065	252

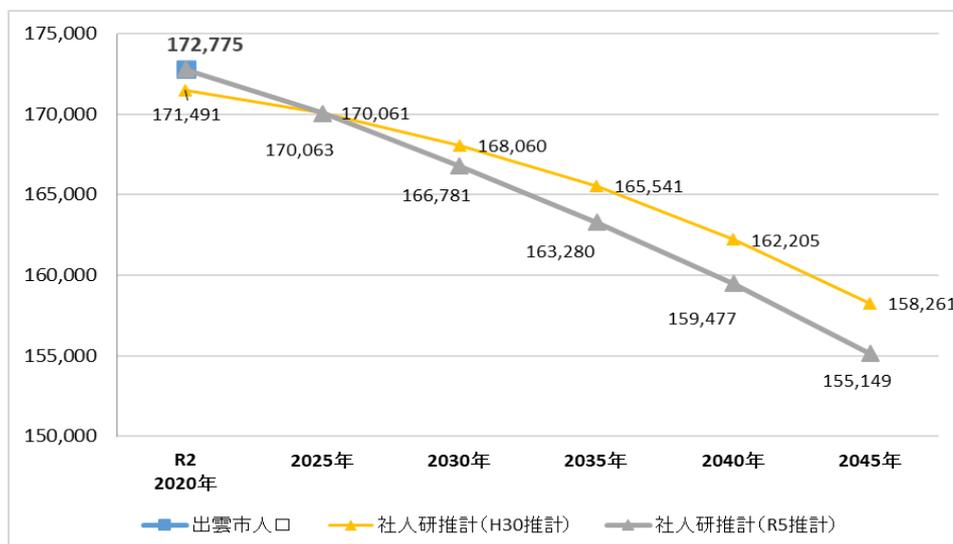
令和5年度の総人口は目標人口を下回りましたが、15歳から64歳までの人口は目標人口を上回りました。

（参考）社人研推計による出雲市の将来人口

社人研は令和5年4月に、令和2年国勢調査の数値を基に推計した新たな将来推計人口を発表しました。

社人研推計人口：社人研が国勢調査による男女・年齢別人口を基準として、出生、死亡、社会移動に関する将来の仮定値を当てはめていく方法（コーホート要因法）により推計した人口。5年ごとの将来人口を公表している。

- ・社人研推計（H30推計）：平成27年（2015）国勢調査を基準とする将来人口
- ・社人研推計（R5推計）：令和2年（2020）国勢調査を基準とする将来人口



(3) 地域・地区別人口の推移

(単位:人)

地域名	令和2年度末	令和5年度末	R5-R2増減	R5-R2増減率(%)
総数	174,708	172,455	▲ 2,253	▲ 1.3
出雲地域	94,520	94,461	▲ 59	▲ 0.1
今市地区	6,506	6,208	▲ 298	▲ 4.6
大津地区	9,890	10,036	146	1.5
塩冶地区	15,681	15,383	▲ 298	▲ 1.9
古志地区	1,995	2,034	39	2.0
高松地区	10,619	10,940	321	3.0
四絡地区	12,385	12,646	261	2.1
高浜地区	3,778	3,824	46	1.2
川跡地区	10,159	10,375	216	2.1
鷹巣地区	1,610	1,573	▲ 37	▲ 2.3
上津地区	1,143	1,070	▲ 73	▲ 6.4
稗原地区	1,642	1,514	▲ 128	▲ 7.8
朝山地区	1,683	1,580	▲ 103	▲ 6.1
乙立地区	565	512	▲ 53	▲ 9.4
神門地区	8,129	8,324	195	2.4
神西地区	3,649	3,586	▲ 63	▲ 1.7
長浜地区	5,086	4,856	▲ 230	▲ 4.5
斐川地域	29,985	30,128	143	0.5
荘原地区	7,445	7,449	4	0.1
阿宮地区	436	391	▲ 45	▲ 10.3
出西地区	5,000	5,168	168	3.4
伊波野地区	6,735	6,936	201	3.0
直江地区	3,956	3,890	▲ 66	▲ 1.7
久木地区	2,459	2,438	▲ 21	▲ 0.9
出東地区	3,954	3,856	▲ 98	▲ 2.5

地域名	令和2年度末	令和5年度末	R5-R2増減	R5-R2増減率(%)
平田地域	24,420	23,160	▲ 1,260	▲ 5.2
平田地区	6,664	6,454	▲ 210	▲ 3.2
灘分地区	3,325	3,133	▲ 192	▲ 5.8
国富地区	2,904	2,794	▲ 110	▲ 3.8
西田地区	1,578	1,446	▲ 132	▲ 8.4
鰐淵地区	589	535	▲ 54	▲ 9.2
久多美地区	2,101	2,033	▲ 68	▲ 3.2
桧山地区	1,326	1,265	▲ 61	▲ 4.6
東地区	2,427	2,254	▲ 173	▲ 7.1
北浜地区	1,015	926	▲ 89	▲ 8.8
佐香地区	1,260	1,165	▲ 95	▲ 7.5
伊野地区	1,231	1,155	▲ 76	▲ 6.2
佐田地域	3,073	2,798	▲ 275	▲ 8.9
須佐地区	1,744	1,584	▲ 160	▲ 9.2
窪田地区	1,329	1,214	▲ 115	▲ 8.7
多伎地域	3,289	3,125	▲ 164	▲ 5.0
湖陵地域	5,153	4,927	▲ 226	▲ 4.4
大社地域	14,268	13,856	▲ 412	▲ 2.9
遙堪地区	2,273	2,207	▲ 66	▲ 2.9
荒木地区	6,047	6,024	▲ 23	▲ 0.4
大社地区	5,163	4,914	▲ 249	▲ 4.8
日御碕地区	599	554	▲ 45	▲ 7.5
鵜鷺地区	186	157	▲ 29	▲ 15.6

出典)住民基本台帳人口

- ・ 出雲及び斐川地域では人口が増加しています。
- ・ 平田、佐田、多伎、湖陵及び大社地域では人口が減少しています。
- ・ 地区別では、出雲地域、斐川地域の10地区で増加している一方で、その他の33地区、特に山間部や海岸部での減少傾向が顕著となっています。

人口が増加傾向にある地域と減少傾向にある地域があり、その傾向は年々顕著になっています。

出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略に係る令和5年度進捗状況

(1) 総合戦略の基本目標に係る実施結果

基本目標	数値目標 (R2~R6)	実績値 (R2~R5)
(1)出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する	雇用創出 (5年間) 1,000人	1,461人 (令和5年度実績472人)
(2)出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる	社会増〔転入－転出〕(5年間) 1,600人	1,209人 (令和5年度実績345人)
(3)出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる	出生数(5年間) 8,000人	5,460人 (令和5年度実績1,239人)
(4)住みやすさ No.1 のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める	市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」 90%	89.1% (R5年度調査結果より)
(5)広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす	中海・宍道湖・大山圏域人口60万人の維持	62.7万人 (R6年3月末住民基本台帳人口)

※(5)は、「中海・宍道湖・大山圏域市長会」の構成市の共通目標

(2) 基本目標毎の重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

	指標数	評価・達成率					合計	その他※
		A 100%以上	B 99~80%	C 79~60%	D 59%以下			
合計	102	35	34	15	9	93	9	
基本目標(1)	20	7	7	1	4	19	1	
基本目標(2)	11	7	2	1	1	11	0	
基本目標(3)	42	16	15	6	1	38	4	
基本目標(4)	23	5	10	5	3	23	0	
基本目標(5)	6	0	0	2	0	2	4	

※ 現時点で実績値が確定しない、または実績値を把握することが困難等により評価検証ができなかった項目

【評価方法】 令和5年度の目標値と実績値とを比較して達成率を算出し評価区分を判定

「R5年度目標値」に対する令和5年度実績値の達成率

A：10割以上、B：8割以上10割未満、C：6割以上8割未満、D：6割未満

【目標達成率の算出方法】

令和5年度の実績値÷令和5年度の目標値×100

※評価のため、令和6年度目標値を5か年度(R2~R6)で均等分割し設定した目標値を含みます。

基本目標（１） 出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する

数値目標	雇用創出数（５年間） 1, 000人 <参考> 単年度平均 1,000人÷5年=200人
実績値	1, 461人（令和５年度実績 472人）

<実績内訳>

年度	雇用創出数 (A)	内訳：雇用等形態		参考	
		創業・自営	正規	非正規 (B)	新規雇用者数 (A) + (B)
R2	345	17	328	22	367
R3	268	25	243	48	316
R4	376	29	347	44	420
R5	472	19	453	46	518
計	1,461	90	1,371	160	1,621

◎令和２年～５年度 雇用創出数 1, 461人の内訳

- | | |
|---------------------------|---------|
| ① 企業誘致（新設・増設等）によるもの | 1, 129人 |
| ② 出雲ブランド認定企業によるもの | 145人 |
| ③ 空き家店舗対策によるもの | 34人 |
| ④ 新規就農者支援によるもの | 27人 |
| ⑤ 放課後児童クラブ支援によるもの | 65人 |
| ⑥ その他（起業支援、林業及び漁業新規就業支援等） | 61人 |

参考：令和５年度 雇用創出数 472人の内訳

- | | |
|----------------------|------|
| ① 企業誘致（新設・増設等）によるもの | 374人 |
| ② 出雲ブランド認定企業によるもの | 70人 |
| ③ 起業支援によるもの | 7人 |
| ④ 林業及び漁業新規就業支援によるもの | 6人 |
| ⑤ 新規就農者支援によるもの | 4人 |
| ⑥ その他（空き家店舗対策、児童クラブ） | 11人 |

企業の新設・増設等が雇用創出に大きく貢献しています。
出雲ブランド商品認定企業での雇用や、空き家店舗対策なども効果が表れています。

【数値目標の達成状況】

基本的方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	目標値		実績値	評価
				R5年度末	R6年度末	R5年度	
(1)第一次産業の活性化と担い手の育成・確保	1	認定新規就農者数	人	7人増	7人増 (対前年度比)	4人増	D
	2	集約した施業団地数	団地	1	5 (5年間)	0 (累計1)	D
	3	学校給食地産地消率	%	74.0	75.0	69.2	B
(2)出雲ブランドの活用	4	出雲ブランド商品認定数 (累計)	商品	30	39	26	B
	5	「おいしい出雲」認定数 (累計)	商品	142	150	108	C
(3)滞在型観光の充実とインバウンドの推進	6	観光入込客数 (暦年 1月～12月)	万人	1,100	1,200	1,209	A
	7	宿泊者数 (暦年 1月～12月)	万人泊	75	80	84	A
	8	外国人宿泊客数 (暦年 1月～12月)	人泊	6,000	12,000	7,348	A
	9	出雲縁結び空港就航便の利用者数	万人	100	103	99.9	B
(4)地場企業への支援	10	技能検定受検者数	人	70	350 (5年間)	76	A
	11	島根大学との共同開発件数	件	6	30 (5年間)	6	A
	12	創業者数	件	165	200 (5年間)	230	A
	13	ビジネスマッチングにおける商談成約件数 (累計)	件	212	265 (5年間)	123	D
	14	就職を希望する市内高校新卒者の県内就職率	%	82	82	78.4	B
就職を希望する市内高校新卒者の市内就職率		%	68.75	70	64.9	B	
(5)企業誘致の促進	15	製造業・ソフト産業の立地計画認定件数	件/年	7	7 (累計21件)	6	B
(6)地域の産業を支える人材の確保	16	市内ソフト系IT企業従事者数	人	501	525	数値未確定	—
	17	就職を希望する市内高校新卒者の県内就職率	%	No. 14と同様			
		就職を希望する市内高校新卒者の市内就職率	%				
	18	県外交流会参加学生数	人	50	250 (5年間)	26	D
	19	職場定着向上支援セミナー受講者数	人	100	500 (5年間)	87	B
職場定着向上支援セミナー実施回数		回	3	3回/年	3	A	

※No16 数値が確定する時期が10月以降となるため実績値未確定

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

指標数	評価				
	A	B	C	D	その他
20	7	7	1	4	1

(1) 第一次産業の活性化と担い手の育成・確保

① 認定新規就農者数〔評価：D〕

認定新規就農者数は他産業の雇用条件の改善などが影響し、都市部からの就農相談が減少したため、目標を下回りました。継続的な新規就農者の確保に向け、今後は就農イベントに積極的に参加するとともに、就農に関するウェブページ改修を行うなど、出雲での就農について広報の仕方を工夫していきます。

② 集約した施業団地数〔評価：D〕

県の方針に従い、林業事業者からの提案により森林経営の再委託モデル地区の設定を進めていますが、対象となる森林がないことから施業団地数を増やすことができていない状況です。今後は、市が実施する市有林での主伐事業に合わせて、主伐地付近の民有林を集約した施業団地の設定を検討します。

(2) 出雲ブランドの活用

⑤ 「おいしい出雲認定数」〔評価：C〕

令和5年度から新しい認定期間が始まるにあたり、前の認定期間での商品認定をリセットし、新しく認定申請を募集しました。申請に際し、「認定のメリットが感じられない」、「認定に係る経費の削減」等の理由で申請数が減ったことにより目標を下回りました。今後は認定のメリットを積極的に発信するとともに、販売促進・販売意欲の向上を促進するよう取り組みます。

(3) 滞在型観光の充実とインバウンドの推進

⑥ 観光入込客数〔評価：A〕

新型コロナウイルス感染症が第5類に分類され、観光需要が高まる中、周遊滞在・消費環境の整備や誘客情報の発信等に取り組みました。特に、情報発信においてはGoogleMaps上の施設情報を充実させることやInstagram

「Izumo365」を開設することで、効果的な情報発信に取り組みました。

結果として、施設の閲覧数が顕著に増加し、集客に寄与したと考えられます。今後も誘客情報の発信等観光誘客や、宿泊につながる効果的な事業について積極的に取り組みます。

⑦ 外国人宿泊客数〔評価：A〕

インバウンドの推進について、訪日意欲の高まりもあり、外国人宿泊者数は目標を達成することができました。令和5年度の取組として、フランスにレップオフィスを設置し、海外メディアや旅行会社との連携を強化したことにより、雑誌やWebサイトで出雲市が取り上げられたほか、旅行商品に行先として出雲市が組み込まれました。今後は令和5年度に造成した関西・山陽からのモデルコースや観光素材集、制作した動画を活用し、宿泊客数の増に向けて引き続き取り組んでいきます。

⑨ 出雲縁結び空港就航便の利用者数〔評価：B〕

令和5年度の出雲縁結び空港利用者数については、観光需要の高まりで過去2番目に多い利用者数であったものの、仙台線・静岡線の運休の影響により、目標を若干下回りました。今後は、新規路線の定着に向けた取組や、既存路線の維持拡大に向けた取組を重点的に行いながら、利用者増加につながる取組を進めます。

(4) 地場企業への支援

⑬ ビジネスマッチングにおける商談成約件数 [評価：D]

販路拡大については、関係団体と連携し、ビジネスマッチングに取り組みましたが、物価高騰や新型コロナの影響により企業活動が回復しきれていない状況のため、事業者の参加やバイヤーの活動が低調で、目標値を下回りました。今後は商談会を主催するミライビジネスいずもを中心に、参加企業や参加するバイヤー増加に向け、広報活動などを積極的に行います。

⑭ 就職を希望する市内高校新卒者の県内/市内就職率 [評価：B]

地場企業の人材確保については、高校の進路指導を担当する教員を対象に、採用情報の提供、企業との情報交換会を実施しました。また生徒を対象として、企業見学会、企業ガイダンス等を行いました。今後もより多くの高校生に地元就職を希望してもらえるようイベント等の内容を工夫し取り組みます。

(5) 企業誘致の促進

⑮ 製造業・ソフト産業の立地計画認定件数 [評価：B]

昨年に引き続き誘致企業へのフォローアップ訪問を行い、企業立地優遇制度を活用する立地済み企業の増設を働きかけました。

また、首都圏を中心としたIT企業の新規立地を積極的に働きかけました。IT企業の進出・事業拡張の流れがあり、令和4年度より実績数は上回りましたが、目標値は下回りました。

引き続き島根県とともに、誘致企業へのフォローアップ訪問を実施し、立地済み企業の増設を働きかけます。また、(株)People Cloudとともに首都圏企業に対し、Izumonomad への新規立地を含め積極的に働きかけ、市外企業の誘致と雇用の場の確保を進めていきます。

(6) 地域の産業を支える人材の確保

⑯ 県外交流会参加学生数 [評価：D]

県外進学者へのアプローチについては、広島・大阪で学生と企業の交流会や県外大学等の情報交換等を実施しましたが、オンラインによる就職活動が定着し、対面の交流会で様々な人と関わりたい参加学生が減少したため、目標を下回りました。今後は交流会の内容を見直し、学生が参加したいと思う内容のイベントを開催するよう取り組みます。

【デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用】

事業名	「～出雲力で地域と人が輝く～持続可能な観光地域づくり」		
事業期間	令和5年度～令和7年度		
事業概要	<p>観光振興により本市が目指す姿・価値として、 ①周遊滞在・消費促進、高付加価値化、通年化などによる「出雲力を生かした経済効果の最大化」、 ②中山間振興や産業振興、関係人口の創出、自然や文化の継承など、観光を活用して多様な地域課題へ貢献すること、 の2点を掲げ、次の5本柱を重点施策として取り組んでいく。</p> <p>【1. 周遊滞在・消費環境の整備】 観光施設情報や交通情報等の面的DXを推進するとともに、出雲周遊観光タクシー「うさぎ号」のバスプランや自転車ツーリズムの強化、グリーンスローモビリティの運行など、周遊・消費を促す情報整備と移動円滑化を図る。</p> <p>【2. 戦略的コンテンツの充実、高付加価値化】 「365日楽しめる出雲」と「第二のふるさと出雲」をテーマとし、自然・歴史文化・食・人の温かさや、観光DXなど、出雲力を生かしたコンテンツの造成・集積・高付加価値化を進め、域内消費の拡大と関係人口創出につながるよう、地域の取組とも連携して分野横断的に取り組む。</p> <p>【3. 個人とつながる情報発信等による出雲ファン獲得】 SNS「izumo365」を開設し、ファンの獲得・分析・個人の関心に沿った情報提供を行うとともに、新たに出雲に縁を持たれた方への情報提供を強化し、リピーターの獲得や、出雲を「第二のふるさと」として貢献してくれるような関係人口の増加をめざす。</p> <p>【4. 2025大阪・関西万博を見据えた国内外旅行者の誘客】 海外メディアや旅行会社等との関係強化によって、国際的なIZUMOの認知度向上と来訪を促進するとともに、市場が拡大するアドベンチャーツーリズムやハイエンドトラベルの造成にも取り組む。また、国内旅行者も含め、大阪・関西万博の機会を生かした誘客にも取り組む。また、出雲市には空港はあるが国際便がないため、離れたゲートウェイから出雲までの来訪ルート・プランを含めた具体的かつ戦略的な誘客に取り組む。</p> <p>【5. 地域の総力戦で臨む観光地経営体制の構築】 分野横断的な庁内推進本部を立ち上げた上で、広域的な連携を含め官民の多様な業種の関係者との情報共有・連携強化を図るとともに、地域DMOの設立に向けた検討とあわせ、地域や事業者が自らデータに基づきマーケティングを行える体制の構築を図る。</p>		
事業費	95,270,400円（うち交付金 47,634,700円）		
数値目標の達成状況			
重要業績評価指標（KPI）		令和5年度実績	評価
①	宿泊客延べ数 27,434人増（722,566人⇒750,000人）	117,739人増（840,305人）	A
②	外国人宿泊客延べ数 4,419人増（1,581人⇒6,000人）	5,767人増（7,348人）	A
③	観光入込客延べ数 502,489人増（10,497,511人⇒11,000,000人）	1,590,137人増（12,087,648人）	A
④	観光消費額 2,087百万円増（45,709百万円⇒47,796百万円）	7,842百万円増（53,551百万円）	A

- 市内観光施設・事業所の Google ビジネスプロフィールの整備を行い、旅行者の消費環境を改善しました。また、廉価な周遊バスツアーを運行し、旅行者の周遊を促進しました。
- グリーンスローモビリティについては、令和5年度の実証実験で得られた課題を整理し、滞在中における回遊手段の充実と消費を促すしくみの向上を図り、本格実施を目指します。

事業名	縁結びデジタルプロモーションによる「出雲ファン」の創出		
事業期間	令和4年度～令和6年度		
事業概要	<p>各ウェブサイトのハブとなる専用ウェブサイトから、各ウェブサイトへ閲覧者を誘導するものと、インターネット広告から直接各分野のウェブサイトへ誘導する2つの仕組みにより、異なるファン層に対して、より効果的なプロモーションとなるよう取組を進める。</p> <p>【専用ウェブサイトから各ウェブサイトへの誘導】 「出雲」「移住・定住」「観光」「就職」などをキーワードに、出雲に興味を持ちそうな人（潜在的な出雲ファン）に対して、インターネット広告を出し、専用ウェブサイトへ誘導。専用ウェブサイトから、閲覧者が興味のある分野のウェブサイトの閲覧に繋げる。</p> <p>【インターネット広告からの各ウェブサイトへの誘導】 各ウェブサイトの最新の情報を、閲覧者の年代、居住地、性別、嗜好などの情報から、より明確にターゲットを絞ってインターネット広告を出し、各ウェブサイトへ直接誘導する。各ウェブサイトでは、観光、移住・定住、就職などに関する具体的な情報を提供することで、観光客、移住・定住者、産品購入者等の増加に繋げる。</p> <p>【共通】 インターネット広告の掲載状況及びウェブサイトへの誘導の状況を毎月分析し、ターゲット選定の条件や、広告掲載媒体を見直すことによって、より高い効果を得る。</p> <p>これらの取組を通じて、各ウェブサイトの閲覧数の増加を図り、出雲に興味・関心を持つ人を増やすことで、出雲のファンを「交流人口」から「関係人口」、「定住人口」へとつながる裾野の拡大をめざす。</p>		
事業費	10,321,300円（うち交付金 5,160,650円）		
数値目標の達成状況			
	重要業績評価指標（KPI）	令和5年度実績	評価
①	県外（国内）からの転入者数 240人増（2,646人⇒2,886人）	69人減（2,577人）	D
②	観光入込客数 214万人増（8,788,358人⇒10,928,358人）	330万人増（12,087,648人）	A
③	ウェブサイトの閲覧件数 28.75万件増（41万件⇒69.75万件）	22.5万件増（63.5万件）	C

- 専用ウェブサイトへの誘導について、令和5年度は新しい広告媒体としてインスタグラムへ動画広告を配信し、出雲に興味のある人へ確実に情報を届けることで、専用ウェブサイトへの誘導へ繋がりました。
- 一方、各ウェブサイトの閲覧件数は、目標を下回りました。今後は、インターネット広告を配信する媒体を精査しより効果の高い媒体へするほか、ウェブページの内容変更を行うなど、効果的な情報提供に努めます。

事業名	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト		
事業期間	令和2年度～令和6年度（出雲市は令和4年度から参加）		
事業概要	<p>1. 地方の魅力的な教育環境を全国の先駆的な自治体と一体となって都市部へ届けることで、地域の高校留学という選択肢をつくる 【地域みらい留学】 地方の高校進学への推進に向けて、都市部の学校への網羅的なチラシ配布・WEB広告・メディア掲載・学習塾ネットワークへの告知・地域留学卒業生及び保護者からの口コミ等によるプロモーションを実施。さらなる興味喚起に向けて、都市部において、中学生親子が全国の地域留学在校生・卒業生・保護者の生の声を聞くことができる全国合同説明会を開催する。</p> <p>2. 高校と地域の協働により魅力ある教育環境をつくる 【高校×地域】 公教育の場へ多様なセクターの参入を積極的に促し、「高校と地域の協働による魅力ある教育環境づくり」を展開する。地域で挑戦する子どもたちの裾野を中学以前まで広げ、高校時代の取組にしっかりと接続させる。合わせて、こうした取組を推進する教員の時間の確保や地域外生徒の受入環境の整備などプロジェクト推進を支える環境を整える。</p> <p>3. 高校卒業生が地域と関わり続ける仕組みをつくる 【卒業生関係人口化】 高校卒業生が、進学や就職を機に地域を飛び出した後も、母校や地域に関わり続けるための機会やコミュニティをつくり、将来的な人材還流や濃い関係人口にしていくための仕組みをつくる。</p> <p>4. 共学共創により全国へスケールアウトさせる (1) 「高校魅力化評価指標」を導入・実装することで地域と連携した取組の価値を見える化し、全国の自治体へ価値を発信 ・「高校魅力化評価指標」とは、三菱UFJリサーチ&コンサルティングと（一財）地域・教育魅力化プラットフォームが共同開発した、生徒の「主体性」「協働性」「探求性」「社会性」の変容具合を数値化したもの ・各高校で導入し、各高校での取組の価値を数値化し、全国に向けて展開 (2) 「地域みらい留学」「地域×高校」「卒業生関係人口化」の実践を磨く全国規模の研修 ・交流会を開催 ・「地域みらい留学フェスタ」と同時開催（経費はフェスタ開催負担金に含む）</p>		
事業費	1,714,113千円（うち交付金 857,048千円）※構成団体全69団体の事業費		
数値目標の達成状況			
	重要業績評価指標（KPI）	令和5年度実績	評価
①	「高校を核とした関係人口」の数 1,090人増（3,948人⇒5,038人）	2,333人増（6,218人）	A
②	「都市部での地方高校全国説明会」参加者数 786人増（4,024人⇒4,810人）	322人増（4,346人）	D
③	「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト件数 317件増（773件⇒1,090件）	968件増（1,741件）	A
④	「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数 17団体増（78団体⇒95団体）	41団体増（119団体）	A

- 出雲市は事業概要のうち、3のみに取り組みました。県外へ進学した学生の地元就職促進及びつながりづくりを目的に、市内や県外での学生と若手社員との交流会、企業見学会を実施しました。また、学生就職サポーターによる相談対応や情報発信を行いました。
- 近年、学生がオンラインでの就活イベントに慣れたため、対面式イベントには参加しなくなっています。しかし、イベント参加後のアンケート結果において、地域や地元企業の魅力について関心を持った参加者が多く、地元就職への意識向上に繋がりました。今後も学生が参加しやすいイベントを開催していきます。

【地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用】

〔認定地域再生計画名〕

出雲市まち・ひと・しごと創生推進計画

〔寄附実績〕

寄附企業	R5 寄附金額	充当事業
株式会社 ERISA (松江市)	500 万円	《事業名》デジタルファースト推進事業 《概要》 出雲市デジタルファースト宣言に基づき、デジタルの力を最大限に活用した取組を推進する。
株式会社コラントッテ (大阪市中央区)	600 万円	《事業名》アニメコンテンツを活用した 誘客促進事業 《概要》 出雲を舞台としたアニメ作品とのタイアップにより、若者世代等を中心とする新たな観光客層の誘客促進を図る。
株式会社 Holoimua (東京都新宿区)	33 万円	
株式会社青木松風庵 (大阪市泉南郡岬町)	150 万円	
大栄産業株式会社 (広島県呉市)	100 万円	《事業名》人材確保対策推進事業 《概要》 地元企業の人材確保を目的に、出雲地区雇用推進協議会の事業や県外での取組を実施するとともに、U I ターン就職希望者及び外国人住民に対する就職支援を行う。
株式会社光南 (岡山県南区)	100 万円	《事業名》いずも産業未来博支援事業 《概要》 企業等の製品、技術等を一堂に集め、広く発信するとともに、未来の産業を担う若者と地元企業等が交流する場を創出し、将来の雇用確保と定住促進を図る。
株式会社合人社計画研究所 (広島市中区)	100 万円	
株式会社ケー・エス・イー (東京都千代田区)	50 万円	《事業名》ヒト・モノづくり推進事業 《概要》 ものづくり体験教室等の開催により、将来にわたって必要なヒト・モノづくりを推進する。
合計	1,633 万円	

基本目標（２） 出雲との縁をつなぎ、人の流れをつくる

数値目標	社会増（５年間） 1, 600人 <参考> 単年度平均 1,600人÷5年=320人
実績値	1, 209人 （令和５年度実績 345人）

< 実績内訳 >

[社会動態の推移]

(単位：人)

	出雲市						社会増
	転入等			転出等			
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
R2年度	2,938	2,456	5,394	2,584	2,153	4,737	657
R3年度	2,898	2,348	5,246	2,686	2,309	4,995	251
R4年度	3,105	2,779	5,884	3,179	2,749	5,928	▲ 44
R5年度	2,908	2,525	5,433	2,674	2,414	5,088	345
合計	11,849	10,108	21,957	11,123	9,625	20,748	1,209

[社会動態の内訳]

(単位：人)

	転入等			転出等			社会増減数		
	日本人	外国人	合計	日本人	外国人	合計	日本人	外国人	合計
R2年度	4,425	969	5,394	3,948	789	4,737	477	180	657
R3年度	4,190	1,056	5,246	3,842	1,153	4,995	348	▲ 97	251
R4年度	4,520	1,364	5,884	4,102	1,826	5,928	418	▲ 462	▲ 44
R5年度	4,170	1,263	5,433	3,908	1,180	5,088	262	83	345
合計	17,305	4,652	21,957	15,800	4,948	20,748	1,505	▲ 296	1,209

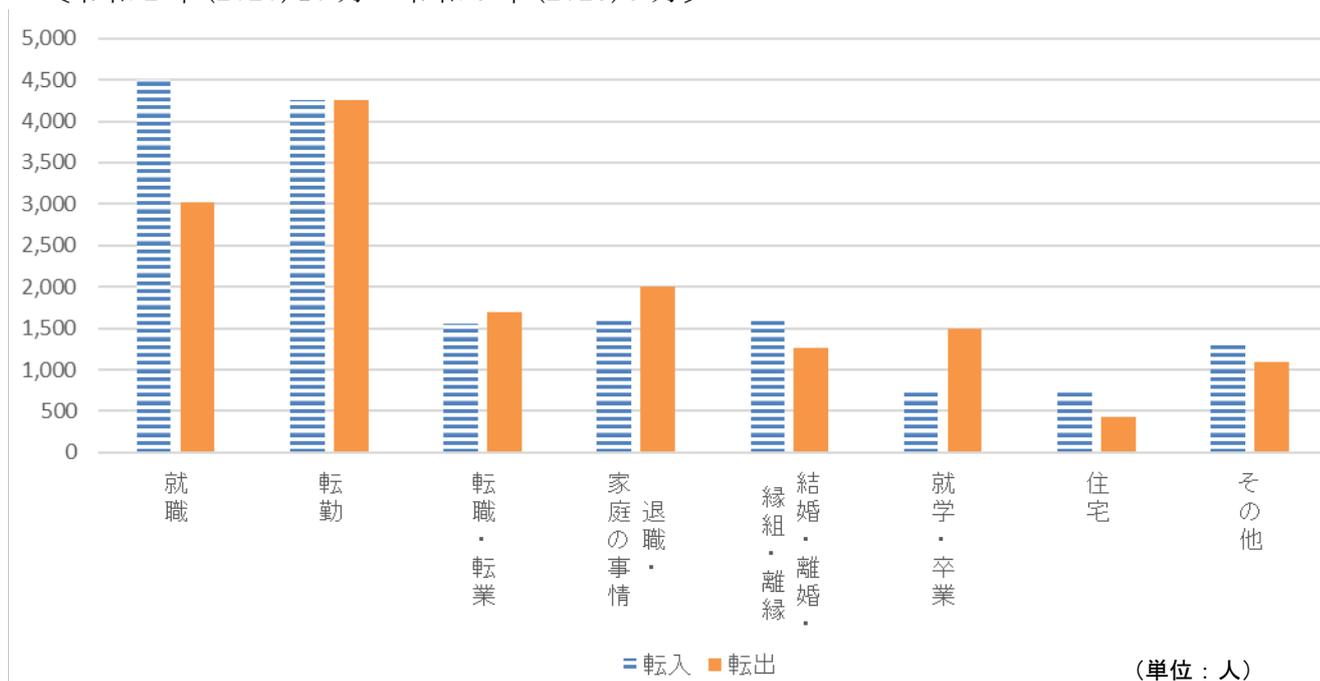
(出典) 住民基本台帳

令和４年度は社会減でしたが、令和５年度は日本人、外国人ともに転入数が転出数を上回る社会増となりました。

<参考データ>

①移動理由別の転入・転出の状況（原因者のみ）

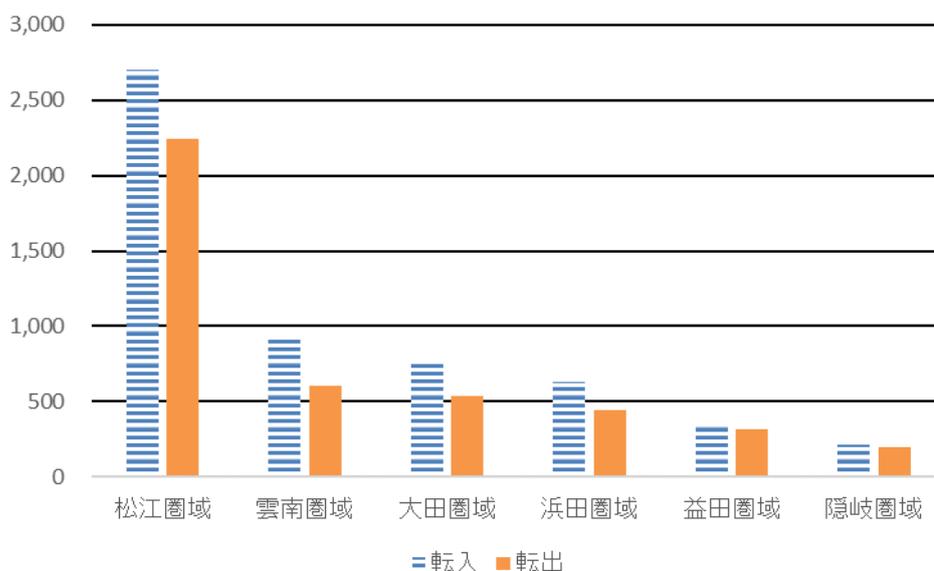
[令和2年(2020)10月～令和5年(2023)9月]



区分	就職	転勤	転職・転業	退職の事情	結婚・離婚・縁組・離縁	就学・卒業	住宅	その他	不詳	合計
転入	4,504	4,258	1,558	1,624	1,603	774	750	1,316	33	11,916
転出	3,023	4,262	1,694	2,003	1,258	1,490	430	1,089	767	12,993
転入－転出	1,481	▲ 4	▲ 136	▲ 379	345	▲ 716	320	227	▲ 734	▲ 1,077

(出典)「島根の人口移動と推計人口」による市町村・移動理由別移動者数

②県内圏域別の人口移動の状況〔令和2年(2020)10月～令和5年(2023)9月〕



(単位: 人)

区分	松江圏域	雲南圏域	大田圏域	浜田圏域	益田圏域	隠岐圏域	県内計
転入	2,701	929	750	629	346	213	5,568
転出	2,242	607	535	446	316	195	4,341
転入－転出	459	322	215	183	30	18	1,227

(出典)「島根の人口移動と推計人口」による市町村・移動理由別移動者数

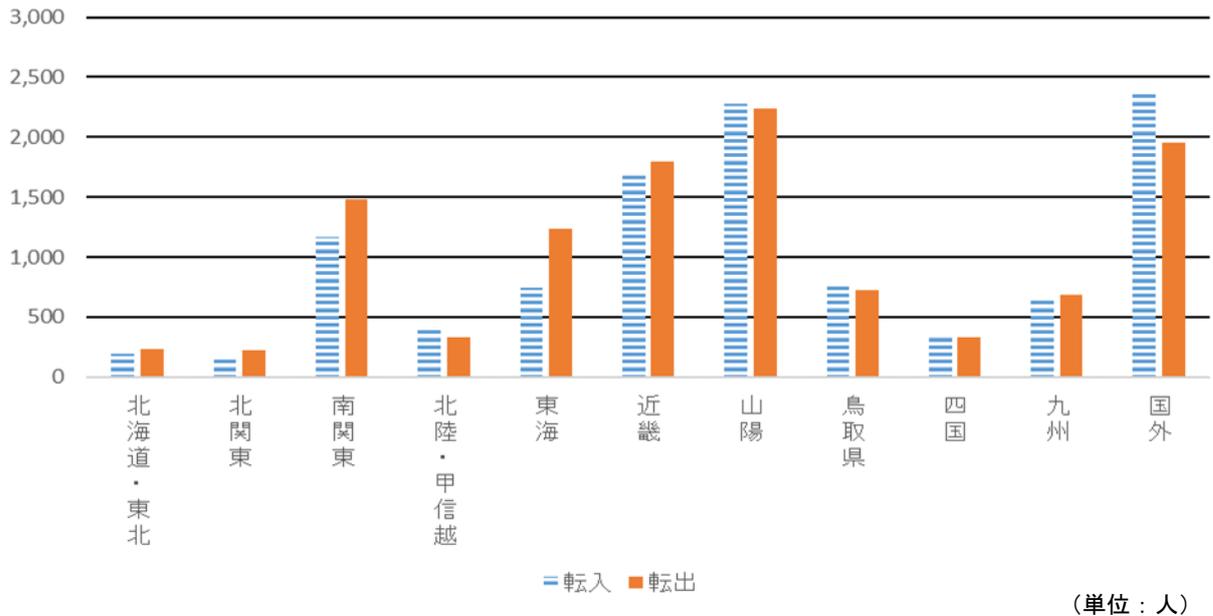
- ※松江圏域：松江市・安来市
- 雲南圏域：雲南市・奥出雲町・飯南町
- 大田圏域：大田市・川本町・美郷町・邑南町
- 浜田圏域：浜田市・江津市
- 益田圏域：益田市・津和野町・吉賀町
- 隠岐圏域：海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町

【地域別転出入の状況】

(単位: 人)

	R2.10-R3-9			R3.10-R4.9			R4.10-R5.9		
	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減
松江圏域	897	752	145	957	722	235	847	768	79
雲南圏域	349	198	151	310	211	99	270	198	72
大田圏域	245	176	69	258	185	73	247	174	73
浜田圏域	248	150	98	213	149	64	168	147	21
益田圏域	125	88	37	103	107	▲4	118	121	▲3
隠岐圏域	67	84	▲17	68	59	9	78	52	26
総計	1,931	1,448	483	1,909	1,433	476	1,728	1,460	268
	合計								
	転入	転出	増減						
松江圏域	2,701	2,242	459						
雲南圏域	929	607	322						
大田圏域	750	535	215						
浜田圏域	629	446	183						
益田圏域	346	316	30						
隠岐圏域	213	195	18						
総計	5,568	4,341	1,227						

③ 県外圏域別人口移動の状況〔令和2年(2020)10月～令和5年(2023)9月〕



区分	国内											国外
	北海道・東北	北関東	南関東	北陸・甲信越	東海	近畿	山陽	鳥取県	四国	九州		
転入	8,435	196	175	1,169	418	746	1,699	2,278	787	332	635	2,383
転出	9,274	232	227	1,480	330	1,233	1,793	2,241	721	334	683	1,957
転入-転出	▲ 839	▲ 36	▲ 52	▲ 311	88	▲ 487	▲ 94	37	66	▲ 2	▲ 48	426

(出典)「島根の人口移動と推計人口」による市町村・移動理由別移動者数

(単位：人)

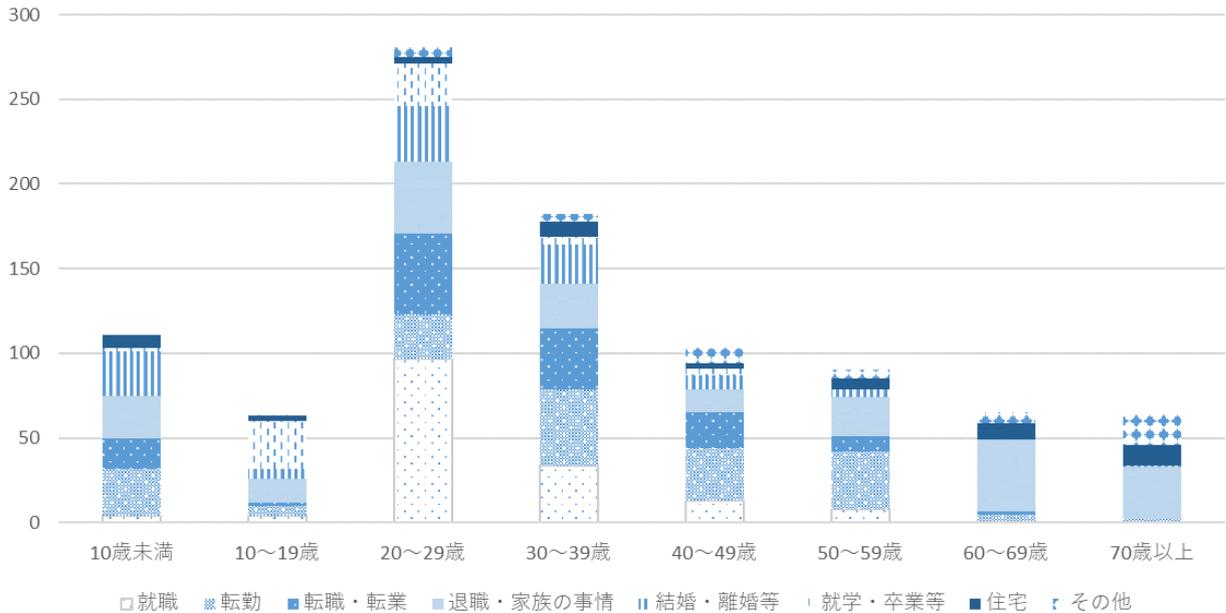
【地域別転出入の状況】

	R2. 10-R3-9			R3. 10-R4. 9			R4. 10-R5. 9		
	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減
北海道・東北	68	57	11	63	88	▲ 25	65	87	▲ 22
北関東	89	52	37	51	79	▲ 28	35	96	▲ 61
南関東	410	437	▲ 27	413	523	▲ 110	346	520	▲ 174
北陸・甲信越	217	125	92	136	127	9	65	78	▲ 13
東海	345	319	26	224	378	▲ 154	177	536	▲ 359
近畿	595	565	30	545	613	▲ 68	559	615	▲ 56
山陽	789	717	72	755	713	42	734	811	▲ 77
鳥取県	251	238	13	256	223	33	280	260	20
四国	116	117	▲ 1	110	88	22	106	129	▲ 23
九州	221	209	12	204	251	▲ 47	210	223	▲ 13
国内	3,101	2,836	265	2,757	3,083	▲ 326	2,577	3,355	▲ 778
国外	566	399	167	1,146	784	362	671	774	▲ 103
	合計								
	転入	転出	増減						
北海道・東北	196	232	▲ 36						
北関東	175	227	▲ 52						
南関東	1,169	1,480	▲ 311						
北陸・甲信越	418	330	88						
東海	746	1,233	▲ 487						
近畿	1,699	1,793	▲ 94						
山陽	2,278	2,241	37						
鳥取県	787	721	66						
四国	332	334	▲ 2						
九州	635	683	▲ 48						
国内	8,435	9,274	▲ 839						
国外	2,383	1,957	426						

注)地域別の構成都道府県は以下のとおり。

地域	構成都道府県
北海道・東北	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北関東	茨城、栃木、群馬
南関東	埼玉、千葉、東京、神奈川
北陸・甲信越	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
山陽	岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

④UIターンの年代別・理由別の状況〔令和5年度〕



(人)

	10歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
UIターン数	111	64	282	183	103	91	65	64	963

(出典) 島根県(島根暮らし推進課) 集計データ

【年齢別・事由別の状況】

	就職	転勤	転職・転業	退職・家族の事情	結婚・離婚等	就学・卒業等	住宅	その他	不詳	合計
70歳以上	0	2	0	31	1	0	12	18	0	64
男	0	0	0	11	1	0	7	7	0	26
女	0	2	0	20	0	0	5	11	0	38
60～69歳	1	4	2	42	0	0	10	6	0	65
男	1	4	2	19	0	0	7	3	0	36
女	0	0	0	23	0	0	3	3	0	29
50～59歳	8	34	9	23	5	0	6	5	1	91
男	3	25	7	13	1	0	2	3	0	54
女	5	9	2	10	4	0	4	2	1	37
40～49歳	13	31	21	14	8	4	3	9	0	103
男	9	21	15	8	0	2	0	3	0	58
女	4	10	6	6	8	2	3	6	0	45
30～39歳	34	45	36	26	23	5	9	4	1	183
男	20	26	22	13	5	4	5	2	1	98
女	14	19	14	13	18	1	4	2	0	85
20～29歳	97	26	48	42	33	25	4	6	1	282
男	44	14	20	20	9	13	1	2	0	123
女	53	12	28	22	24	12	3	4	1	159
10～19歳	4	6	2	14	6	28	3	1	0	64
男	1	4	1	8	2	14	3	0	0	33
女	3	2	1	6	4	14	0	1	0	31
10歳未満	4	28	18	25	26	2	8	0	0	111
男	2	16	10	13	13	0	4	0	0	58
女	2	12	8	12	13	2	4	0	0	53
UIターン総計	161	176	136	217	102	64	55	49	3	963
男	80	110	77	105	31	33	29	20	1	486
女	81	66	59	112	71	31	26	29	2	477

【数値目標の達成状況】

基本的方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	目標値		実績値	評価
				R5年度末	R6年度末	R5年度	
(1)出雲の魅力発信	20	「出雲人-IZUMOZINE」ホームページコンテンツアクセス件数 (ページビュー数)	万件	19	37	16	B
		「いずも暮らし」ホームページコンテンツアクセス件数 (ページビュー数)	万件	20.3		40.8	A
	21	図柄入り出雲ナンバー交付枚数	枚	7,000	8,000	9,014	A
(2)移住促進	22	UIターン就職支援窓口相談者数	人	446	500 (年間延べ人数)	332	C
	23	移住支援金を利用して移住した世帯数	世帯	5	25 (5年間)	8	A
	24	女性のIターン女性事業利用によるIターン者数	人/年	20	20	21	A
	25	移住促進住まいづくり助成認定件数	件/年	10	10	43	A
	26	新婚・子育て世帯UIターン支援助成件数	件/年	35	35	4	D
	27	過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成件数	件/年	30	30	42	A
	28	空き家バンク登録物件数	件	27	150 (5年間)	53	A
(3)定住促進	29	過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成件数	件	No. 27と同様			
	30	市内大学・専門学校在学学生数	人	2,000	2,000	1,911	B

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

指標数	評価			
	A	B	C	D
11	7	2	1	1

(1) 出雲の魅力発信

⑳ ホームページコンテンツアクセス数 [評価：A・B]

ホームページコンテンツアクセス数については、効果的な広告配信を行い、閲覧者をホームページへ誘導することで、アクセス数を伸ばすよう取り組みました。

今後はインターネット広告を配信する媒体を精査し、より多くの閲覧者がホームページを訪れるよう取り組みます。あわせてホームページコンテンツを見直し、閲覧者がより満足する内容となるよう取り組みます。

(2) 移住促進

㉑ UIターン就職支援窓口相談者数 [評価：C]

UIターン希望者等を対象に、就職相談、職業紹介などを実施しましたが、UIターン希望者に相談窓口の存在を十分周知できていない状況です。今後は移住相談イベントや県外大学にて、相談窓口について積極的に広報し、安心して相談できる体制を周知することで、UIターン者の増加に取り組みます。

㉒ 新婚・子育て世帯UIターン支援助成件数 [評価：D]

「新婚・子育て世帯UIターン支援助成」については、令和4年度に新しく始めた助成制度です。周知が不十分だったことから令和5年度は目標を下回りましたが、徐々に制度が浸透し申請件数が増えています。今後も利用者の意見も聞きながらニーズにあった制度への検討も行い、事業を進めていきます。

(3) 定住促進

⑩ 市内大学・専門学校在學生数〔評価：B〕

地元大学・専門学校の魅力化支援等については、市民向けの公開講座や地域活動に在學生が参加し、進学を考える高校生やその保護者に各学校の魅力発信を行っています。令和5年度は前年度より多い在學生数となりましたが、医療系の学校であるため新型コロナの影響を少なからず受けたことにより、目標を下回りました。

基本目標（3） 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる

数値目標	出生数（5年間）8,000人 ＜参考＞ 単年度平均 8,000人÷5年=1,600人
実績値	5,460人（令和5年度実績1,239人）

＜実績内訳＞

出雲市の自然動態の推移（外国人内数あり）

（単位：人）

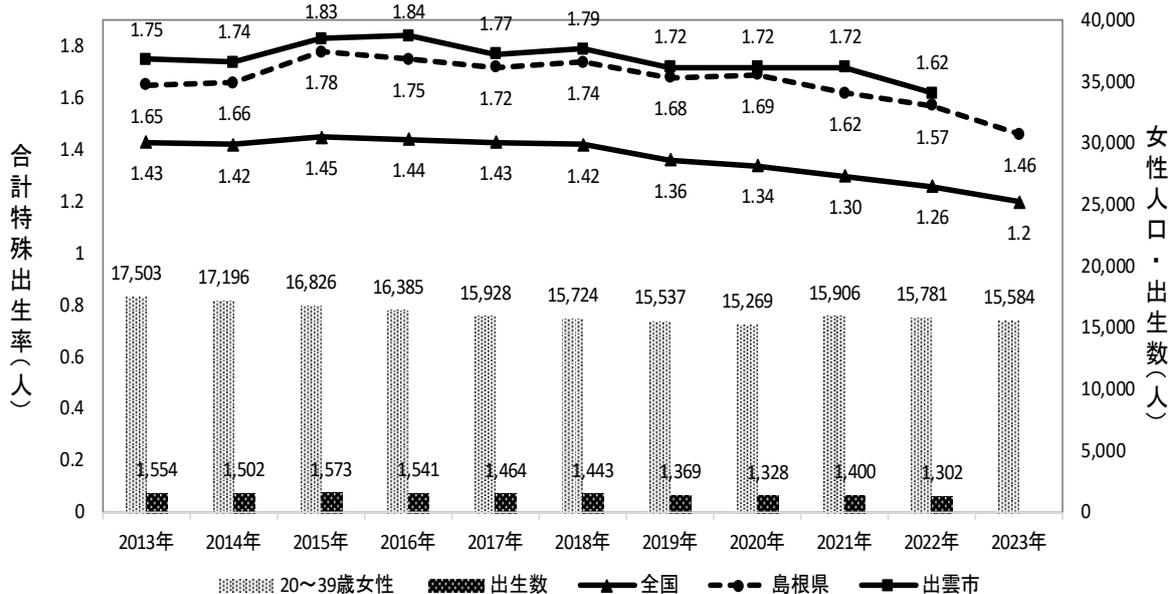
	出生数		死亡数		自然増減数	
		うち外国人		うち外国人		うち外国人
R2年度	1,381	65	2,120	4	▲ 739	61
R3年度	1,490	65	2,223	9	▲ 733	56
R4年度	1,350	70	2,392	4	▲ 1,042	66
R5年度	1,239	66	2,265	5	▲ 1,026	61
合計	5,460	266	9,000	22	▲ 3,540	244

（出典：住民基本台帳）

出生数は減少傾向であり、それに伴い自然減数も増加傾向にあります。

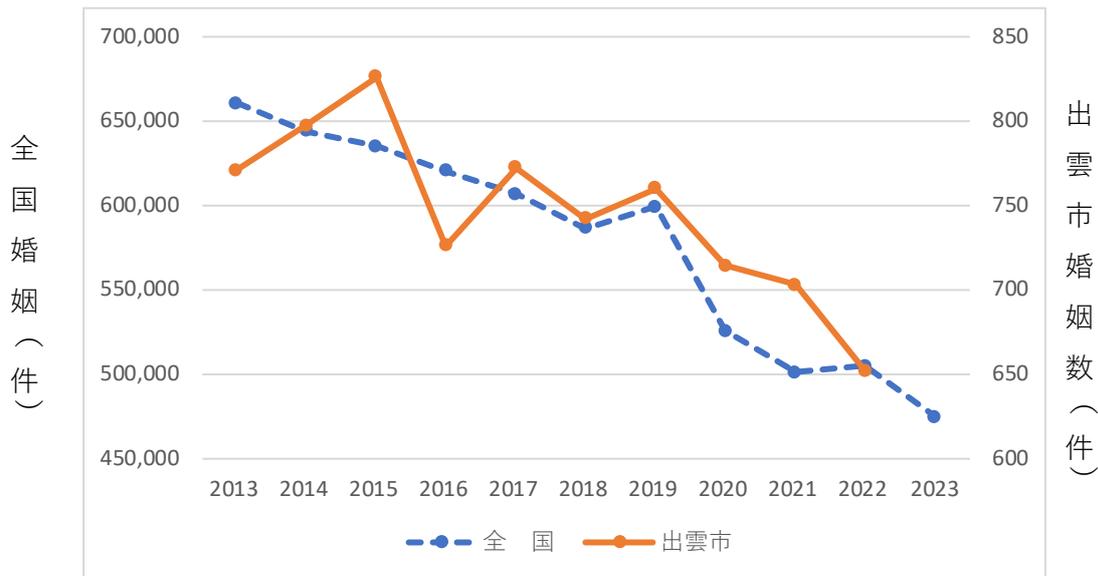
＜参考データ＞

①合計特殊出生率の推移と女性人口（20～39歳）・出生数（暦年）



出典：厚生労働省「人口動態統計」及び島根県「島根の人口移動と推計人口」
※出雲市の合計特殊出生率及び出生数は未公表

② 婚姻数の推移



出典：厚生労働省「人口動態統計」
(単位：件)

	H25年 2013	H26年 2014	H27年 2015	H28年 2016	H29年 2017	H30年 2018	R1年 2019	R2年 2020	R3年 2021	R4年 2022	R5年 2023
全国	660,613	643,749	635,156	620,523	606,866	586,481	599,007	525,507	501,138	504,878	474,717
出雲市	771	797	826	726	772	742	760	714	703	652	-

※出雲市の婚姻数は夫の住所が出雲市であるものの件数。R5年は数値未公表

【数値目標の達成状況】

基本的方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	目標値		実績値	評価
				R5年度末	R6年度末	R5年度	
(1)結婚支援	31	婚活ツアー実施回数	回	2	10 (5年間)	2	A
		カップル率	%	30.0	30.0	63.2	A
	32	ライフデザイン講座開催数	回/年	3	3	3	A
(2)妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	33	一般不妊治療費助成制度利用(申請)件数	件	250	250	276	A
		不育症治療費助成制度利用(申請)件数	件	10	50 (5年間)	7	C
	34	あかちゃんのお世話教室満足度	%	100.0	100.0	96.6	B
		はじめての子育て講座満足度	%	100.0	100.0	88	B
		4か月児健診対象者の絵本とのふれあい実施率	%	100.0	100.0	100	A
		にこっとティータイム講座満足度	%	100.0	100.0	85	B
	35	子育て支援センター利用者数	人日	46,000	54,000	44,956	B
		ファミリーサポートセンター利用者数	人日	6,270	6,270	6,453	A
	36	4月1日時点の認可保育所・認定こども園・小規模保育事業施設の待機児童数	人	0	0	0	A
		児童クラブ利用者数	人	2,589	2,641	2,516	B
37	通訳・翻訳件数(子ども未来部所管)	件	2,300	2,300件/年	1,650	C	

基本的方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	目標値		実績値	評価		
				R5年度末	R6年度末	R5年度			
(3)教育の充実	38	市学力調査 ・授業を理解している割合	小学5年生	%	国語89.0	90.0	90.7	A	
					社会89.0	90.0	実施なし	—	
					算数89.0	90.0	87.2	B	
					理科89.0	90.0	実施なし	—	
			中学2年生	%	国語84.0	85.0	87.4	A	
					社会84.0	85.0	実施なし	—	
					数学84.0	85.0	79.0	B	
					理科84.0	85.0	実施なし	—	
		全国学力調査 ・授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる割合	小学6年生	%	84.0	85.0	69.7	B	
			中学3年生	%	79.0	80.0	79.9	A	
	39	全国学習状況調査 ・授業のICT活用状況（学級週1回以上）	小学校	%	95.0	100.0	87.9	B	
			中学校	%	95.0	100.0	92.9	B	
	40	全国学習状況調査（中学3年生） ・英語の授業は好きだ（肯定回答割合）			%	63.0	65.0	49.0	C
			全国学習状況調査（中学3年生） ・英語の授業はよく分かる（肯定回答割合）			%	77.0	80.0	58.9
	41	学校図書館を活用した授業実施数 （1学級あたりの年間時数）		小学校	時間	27.0	30.0	21.2	C
			中学校	時間	7.0	8.0	11.6	A	
		前項目のうち学校司書（学びのサポーター、読書ヘルパー）が授業に関わった割合	小学校	%	20.0	20.0	19.1	B	
			中学校	%	16.0	20.0	10.5	C	
	学校司書（学びのサポーター）配置割合（配置校/全校）				%	23校/47校	30校/44校	23校/47校	A
	42	不登校児童の割合			%	2.38	1.98	5.01	D
43	支援生徒数			人	60	280 (5年間)	60	A	
44	日本語指導期間1年以上の児童生徒の日本語能力ステージの向上割合（日本語指導1年の児童生徒の1年経過後の日本語能力ステージの向上）			%	84.0	85.0	91	A	
45	アプローチカリキュラム策定率	保育所	%	90.0	100.0	96.0	A		
		幼稚園	%	100.0	100.0	96.0	B		
	保幼小交流の日参加率				%	100.0	100.0	91.5	B
	そだちの応援シート回収率				%	100.0	100.0	99.9	B
(4)ワーク・ライフ・バランスの推進	46	ワーク・ライフ・バランスに関する企業や市民に向けた講座の開催数	回/年	5	5	7	A		

※No38 市学力調査において、社会・理科の調査が実施されていないため実績値未確定

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

指標数	評価				
	A	B	C	D	その他
42	16	15	6	1	4

(1) 結婚支援

③① 婚活ツアー実施回数・カップル率 [評価：A]

令和5年度は従来のツアーの形を変え、メタバース婚活イベントを実施しました。令和5年度に初めて行った企画でしたが、メタバース上でのイベントとリアルのイベントを行うことで、参加者から高い満足度を得ることができました。また、その後のカップル成立率も高く成果がでているため、今後も引き続いてイベント開催に取り組めます。

(2) 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援

③③ 不育症治療費助成制度利用（申請）件数 [評価：C]

不妊治療及び不育治療への支援については、医療機関等において制度周知を行っています。子どもを望む夫婦にとって、関心の高い事業であるため、今後は治療開始を検討している夫婦に限らず、広く制度が認知されるよう周知を行います。

③⑤ 子育て支援センター利用者数 [評価：B]

少子化の影響に加え、親の復職に伴い保育所・保育園へ入所する子どもたちが増えたため、利用者数が減少したと考えます。今後も利用者のアンケートを基にニーズをとらえ、利用しやすい取組を実施します。

③⑥ 児童クラブ利用者数 [評価：B]

児童クラブ利用希望者数は年々増加している一方、人手不足等を理由に、希望者数に対し受入児童数を少なくせざるを得ない児童クラブもあります。今後は社会福祉法人の参入等も含めて、希望者が受け入れられるよう取組を行います。

③⑦ 通訳・翻訳件数 [評価：C]

外国籍保護者への子育て支援については、ポルトガル語通訳翻訳員を1名配置して、通訳や翻訳を行いました。令和5年度は、翻訳員の勤務日数が少なくなったことに伴い、実績も減り目標を下回りました。保育所・幼稚園での訪問相談、乳幼児健診など翻訳・通訳業務が必要な場面は多岐にわたります。今後も通訳翻訳員を配置し、通訳対応の他、翻訳物の充実に一層努めていきます。

(3) 教育の充実

③⑨ 全国学習状況調査・授業のICT活用状況 [評価：B]

ICT機器導入による効果的学習の推進については、教員間でICT活用能力の違いがあり、活用頻度に差が生じているため、目標を下回りました。

教員のICT活用については、ICT支援員を派遣してICT機器の活用サポートを行い、ICTの効果的な活用により教育の質の向上を図っていきます。

④① 全国学習調査（中学3年生 英語） [評価：C]

英語の授業に対する評価や理解度については、目標を下回りました。目標達成には様々な取組が必要だと考えます。引き続き学校にALT及びAETを派遣し、質の高い外国語教育の推進を図るとともに、研修及び訪問指導等をとおして授業力向上を図っていきます。

④① 学校図書館を活用した授業実施数 [評価：C]

学校司書の配置については、当市では、学びのサポーターと読書ヘルパーという2種類の学校司書を配置しています。学びのサポーターは、読書ヘルパーが行う学校司書業務に加え、学校図書館を拠点とした児童生徒一人一人によりそう業務（居場所づくりや人間関係づくり、個別学習支援など）を担っています。

学校図書館を活用した授業については、学校間で活用には差がみられるほか、勤務時間の短い読書ヘルパーが配置された学校では、授業活用が少ない傾向だったため、目標を下回りました。今後は学校における図書館の活用を促進するほか、学びのサポーターの配置を計画的に進めます。

④② 不登校児童の割合〔評価：D〕

不登校児童の割合については、近年全国的に増加傾向にあり、本市でも増加傾向にあります。

このような中、不登校対策の方向性を示した「出雲市不登校対策指針」を策定しました。令和5年度は不登校相談員の配置や教育支援センターによる支援に加え、オンラインでの相談やタブレット端末を活用した学習支援を行いました。今後も個々の不登校児童生徒の状況に応じ、きめ細かく対策に取り組んでいきます。

(4) ワーク・ライフ・バランスの推進

④⑥ ワーク・ライフ・バランスに関する企業や市民に向けた講座の開催数

〔評価：A〕

企業及び市民への啓発促進について、ワーク・ライフ・バランスに関する企業向け出前講座開催に取り組みました。雇用推進協議会等でチラシ配布をすることにより、企業向け出前講座について市内事業所に周知した結果、予定を上回る受講希望企業に対応することができ、目標を達成できました。今後もさらなる推進に向け、事業を継続していきます。

基本目標（４）住みやすさ No.1 のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める

数値目標	市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」 90%
実績値	89.1%（令和5年度調査結果より）

【令和5年度市民満足度調査の概要】

- (1) 調査対象者 市内に居住する満18歳以上の者
- (2) 調査数 4,000人
- (3) 調査方法 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送ウェブ又は郵送にて回答
- (4) 調査結果 回答数1,410人（回答率35.3%）

【数値目標の達成状況】

基本的方向	No.	重要業績評価指標（KPI）	単位	目標値		実績値	評価	
				R5年度末	R6年度末	R5年度		
(1)安全、安心なまちづくり	47	防災行政無線戸別受信機及びいづも防災メールの加入・登録者（世帯）数	人	44,659	55,000	35,730	B	
(2)生涯現役のまちづくり	48	特定健診受診率	%	60.0	60.0	42.7% (R6.4時点速報値)	C	
		がん検診受診率	①胃がん検診（40～69歳）	%	10.0	10.0	4.7	D
			②大腸がん検診（40～69歳）	%	50.0	50.0	35.4	C
			③乳がん検診（40～69歳）	%	60.0	60.0	52.3	B
			④子宮がん検診（20～69歳）	%	70.0	70.0	43.5	C
			⑤結核・肺がん検診（40～69歳）	%	10.0	10.0	5.4	D
49	朝食を食べる子どもの割合	3歳児	%	99	100	97.7	B	
		小学6年生	%	95	100	86.5	B	
		中学3年生	%	95	100	85.8	B	
	食のボランティアの活動回数	回/年	312	330	370	A		
(3)共生のまちづくり	50	自動車改造費助成件数（操作系改造を行った15歳～65歳の方の件数）	件/年	10	10	12	A	
		自動車運転免許取得費助成件数	件/年	5	5	23	A	
	51	障がい者差別解消法における合理的配慮や”あいさポート”運動の普及啓発の出席講座受講人数	人/年	1,680	1,680	1,696	A	
	52	外国人住民の長期（5年以上）滞在者の割合	%	41.0	42.0	35.2	B	

基本的方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	目標値		実績値	評価
				R5年度末	R6年度末	R5年度	
(4)中山間地域の活性化	53	小さな拠点づくりに向けた取組（現場支援地区の累計数）	地区	4	5	3	C
		過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成件数	件/年	No. 27と同様			
(5)地域を支えるひとづくり	54	自治会加入世帯数	世帯	38,500	39,000	37,571	B
	55	コミュニティセンター利用者数	人	730,000	810,000	663,569	B
	56	市民協働事業の補助対象事業採択数	件/年	6	6	12	A
	57	出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数	人	11,360	11,360	7,064	C
		スポーツイベント市民参加者数	人	2,662	2,900	1,115	D
58	島根大学・島根県立大学及び市内専門学校との連携事業数	件	126	130	118	B	
(6)交通ネットワークの確保	59	山陰道「出雲・湖陵道路」進捗率	%	90.0	100.0	85.0	B
		山陰道「湖陵・多伎道路」進捗率	%				
	60	出雲縁結び空港就航便の利用者数	万人	No. 9と同様			

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

指標数	評価			
	A	B	C	D
23	5	10	5	3

(1) 安全、安心なまちづくり

④⑦ 防災行政無線戸別受信機及びいずも防災メールの加入・登録者（世帯）数 [評価：B]

防災行政無線戸別受信機、いずも防災メールの加入・登録促進については、様々な機会をとらえPRしていますが、目標を下回りました。これらのツールの有効性を周知していますが、災害にかかる情報を入手するツールは、他の手段（インターネット、防災アプリ、ケーブルテレビ等）も含め、多種多様であるため、情報を得る市民の選択に左右されると考えます。引き続き防災行政無線戸別受信機等の有効性をPRし、加入促進に努めるとともに、独居高齢者等に対する防災行政無線加入料の減免制度の導入なども検討します。

(2) 生涯現役のまちづくり

④⑧ 特定健診、がん検診受診率 [評価：B・C・D]

特定健診・がん検診の受診の推進については、WEBでの申込を取り入れ、受診しやすい環境を整える取組や未受診者に対し個別通知し受診勧奨を行いました。思うように対象者の行動変容に繋がらず目標を下回りました。今後は、休日セットがん検診や事業所検診との連携や、未受診者へのリマインド通知などを積極的に行い、受診率を上げる取組を行っていきます。

(3) 共生のまちづくり

52 外国人住民の長期（５年以上）滞在者の割合〔評価：B〕

多文化共生推進プランに基づく取組の推進については、外国人住民のための防災訓練や、合同企業説明会を行うなど外国人住民が暮らしやすいまちづくりに取り組みましたが、市内事業所の業況により、多くのブラジル人従業員が転出したことにより、目標を下回りました。

今後も「出雲市多文化共生推進プラン」に基づき取組を着実に進めていくとともに、外国人住民の安定した雇用の場の確保や子育て環境の充実に努めていきます。

(4) 中山間地域の活性化

53 小さな拠点づくりに向けた取組（現地支援地区の累計数）〔評価：C〕

地域課題解決に向け小さな拠点づくりに向けた取組を行っていますが、新しく「持続可能な地域ビジョン」を策定した地区は無く目標を下回りました。人口減少や少子高齢化が加速する中、今後も引き続き、地域支援員を中心に地域住民が主体となって地域づくりを進める機運醸成を働きかけていくほか、地域に寄り添いながら、地域の課題解決に向けた支援を行っていきます。

(5) 地域を支えるひとづくり

54 自治会加入世帯数〔評価：B〕

自治協会等が取り組む加入促進や住民自治活動に対する支援については、自治会支援アドバイザー事業を継続実施し、2地区で専門業者からアドバイスを受けましたが、市全体の自治会加入者数は高齢化による自治会の脱会及び新築住宅の自治会未加入が影響し、目標を下回りました。

今後は自治会業務の見直しを進め、負担軽減を図ることでより多くの方に加入していただけるよう取り組みます。

57 出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数〔評価：C〕

スポーツイベント市民参加者数〔評価：D〕

市民レベルでのスポーツ・文化活動の推進については、災害により一畑薬師マラソンの開催形態が変更となったため、参加者が大幅に減り、目標を下回りました。

本年度は多くの方に参加いただけるよう日程やコースを調整しながら、開催する予定です。

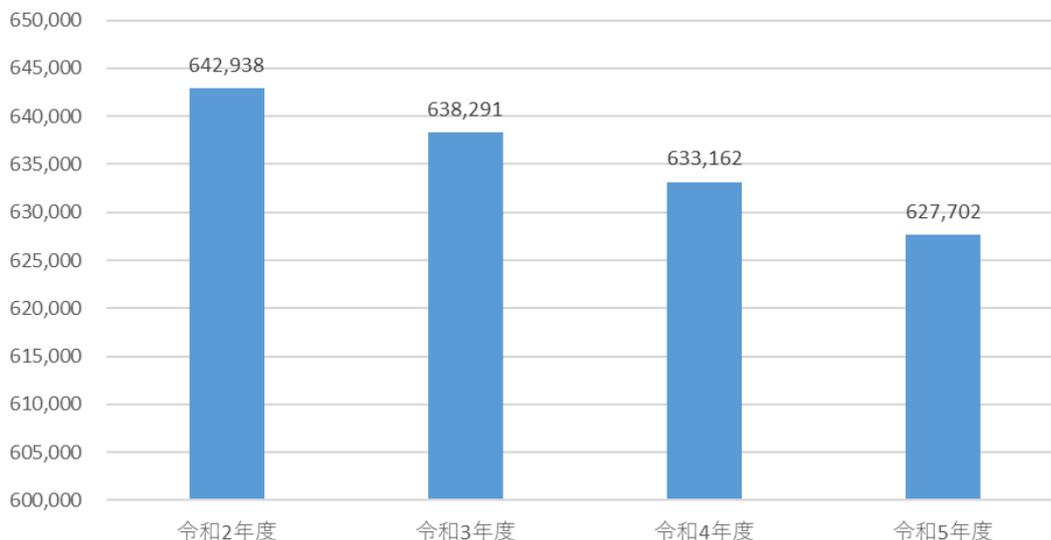
(6) 交通ネットワークの確保

59 山陰道進捗率〔評価：B〕

高速道路ネットワークの早期構築については、令和6年度の開通に向け、国において事業推進が図られてきました。道路整備の進捗状況はほぼ計画通りに進んでいます。

基本目標（５）広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす

数値目標	中海・宍道湖・大山圏域人口 60万人の維持
実績値	62.7万人（令和6年3月末 住民基本台帳人口）



<実績内訳>

（人）

市町村名	令和2年度末人口	令和3年度末人口	令和4年度末人口	令和5年度末人口	R5-R2増減数
出雲市	174,708	174,226	173,136	172,455	△ 2,253
松江市	199,889	198,330	196,748	194,814	△ 5,075
安来市	37,512	36,857	36,138	35,625	△ 1,887
米子市	146,680	146,108	145,348	144,123	△ 2,557
境港市	33,433	33,011	32,774	32,525	△ 908
日吉津村	3,558	3,589	3,615	3,589	31
大山町	15,822	15,474	15,223	14,904	△ 918
南部町	10,580	10,400	10,337	10,213	△ 367
伯耆町	10,740	10,553	10,384	10,270	△ 470
日南町	4,350	4,212	4,081	3,965	△ 385
日野町	2,929	2,880	2,782	2,702	△ 227
江府町	2,737	2,651	2,596	2,517	△ 220
合計	642,938	638,291	633,162	627,702	△ 15,236

中海・宍道湖・大山圏域人口は、60万人を維持していますが、圏域人口は減少傾向が続いており、継続した取組が必要です。

【数値目標の達成状況】

基本的方向	No.	重要業績評価指標（KPI）	単位	目標値		実績値	評価
				R5年度	R6年度末	R5年度	
(1) 中海・宍道湖・大山圏域市長会を軸とした広域連携の推進	61	ビジネスマッチング商談件数	件	680	3,400 (5年間)	438	C
	62	圏域での外国人観光客宿泊数	千人泊	350	459	数値未確定	—
	63	圏域での国内観光客宿泊数	万人泊	429	433	数値未確定	—
	64	観光消費額	億円	1,143	1,160	数値未確定	—
	65	免税店登録店舗数	店舗	205	220	168	C
	66	圏域内への移住者数	人	3,000	3,000 (維持)	数値未確定	—

※No62～64, 66 数値が確定する時期が8月以降となるため実績値未確定

重要業績評価指標（KPI）の評価結果

指標数	評価				
	A	B	C	D	その他
6	0	0	2	0	4

(1) 中海・宍道湖・大山圏域市長会を軸とした広域連携の推進

61 ビジネスマッチングの商談件数 [評価：C]

ビジネスマッチングの商談件数については、新型コロナウイルスが5類に移行し、多くの場所で同内容のビジネスマッチングが開催されたため、参加する企業が減少したことで商談件数も減り、目標を下回りました。

本ビジネスマッチングは山陰最大規模の商談会に位置付けられており、事業効果も高いと考えられるため、随時、企業ニーズ等を柔軟に反映させながら、事業継続していきます。

観光誘客の面については、今後定期就航する貨客船イースタンドリーム号やインバウンド需要等に対応するため、受入環境の整備等準備を整えるとともに、効果的に国内に向けた情報発信を実施することにより、圏域周遊促進及び旅行消費拡大の取組を強化していく必要があります。